



社会を構成する一員としての

作法を学ぶ〈生徒会活動〉

年が開け、生徒会本部の新しい役員が決まりました。(〇数字は学年)

- 会長…森君②
- 副会長…本田(き)さん②
- 副会長…飯田さん①
- 書記…白石さん①
- 学習部…本多(さ)さん②
- 生活部…千葉さん②
- 保健部…本多(あ)さん②
- 文化部…定方さん②
- 美化部…松尾(あ)さん②
- 図書部…井関さん②



生徒会活動は、この国の政治形態である「議会制民主主義」や社会の仕組み等を学ぶ「教材」でもあります。これからの社会生活へ向けて「福祉」を整えたり、「地域」のよりよい在り方」を実現させる方法を学んだりすることもできます。

今、社会は大きな変化の中にあります。どのような未来になるうとも、手を取り合っつてよりよい社会をつくる一員となるために前例に囚われない**チャレンジ精神**で頑張つてほしいと願っています。

新生徒会長の夢・憧れ・志

本校七十八代目となる森(雄)生徒会長の就任挨拶を掲載します。

この度、大野(悠)さんから生徒会長を引き継ぎました森(雄)です。初めに、令和五年度生徒会役員の皆さん、〇之津中学校のために尽力してくださり、ありがとうございました。これからは、令和六年度生徒会役員が生徒会を引き継ぎ、〇之津中学校のために尽力します。

僕は、生徒会長としてみなさんが過こしやすい学校にするために新たな取り組みを実行します。例としては、日本や世界で今、困っている方々にできる支援活動への参加などです。そのほかにも、みなさんが楽しく、より快適に学校生活を送ることができるよう取り組みを実行します。また、生徒会長は学校の先頭に立って〇之津中学校を引っ張らないといけないので、一つ一つの行動に責任をもつて生活します。

そして、今年の生徒会年間スローガンは「共存共栄」です。このスローガンには「互いに協力し合い、共に栄えて学校をよりよくする」という意味が込められています。このスローガンに沿って、〇之津中学校の生徒会では、全員で協力し合い、チームワークのいい生徒会にしましょう。そして、全員が積極的に意見を出し合っつて、自分たちが自分たちのために行動し、より良い〇之津中学校を築きあげましょう。

彼らがどれだけイキイキと活動できるかは、このまちの未来の**イキイキ度**を左右すると考えています。そのために、活動はコミュニケーション・スキルの機能を生かして**もっと保護者や地域の皆さんと関わり合う機会を増やして**いけたらと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

〈コラム 港町ブルース〉

「同窓会」

先日、同窓会(中学校時代の同級生)に参加しました。還暦の祝宴を兼ねた

会では、昔話に花が咲いたり近況を交換したりして「あー、俺ら今、いい時間を過ごしているね」「この時間、終わってほしくないね」と惜しむように語り合いました。人生の選択の中で住所は日本国中に広がっていましたが、都会から帰ってきてきて家業を継いだり、勤め人をやめて農業を始めたたりした者もいました。そして…、鬼籍に入った仲間も両手の指の数を超えていました。

それぞれの人生を歩んでふるさとに集った会は、「また会おうね」と言っつてお開きになりました。

四十五年なんてあつという間だったなあと思いつつ、目の前の中学生たちは、これからどんな時を過ごし、どんな会話を還暦の会で語り合っつたのだろうと思ひました。どんな道であつても「幸せだった」と言える人生でありますように(祈願)。



《 主な行事予定 》

- 〈1月〉
(1月からは、私立高校の受験が始まります。)
- 19日(金) 避難訓練
- 〈2月〉
- 1日(木) 公立高校前期選抜試験
(島工高は2日まで)
- 8日(木) 公立高校前期合格発表
- 9日(金) 新入生対象入学説明会
- 20日(火) 学年末テスト ~22日
- 26日(月) 合同高校説明会
学年育友会・評議員会
- 〈3月〉
- 6日(水) 公立高校後期選抜試験
~7日
- 14日(木) 卒業証書授与式(給食なし)

《心に響いた言葉》 「一人ひとりが『最高学年になる』『口中を引っ張っつていかなければならない』という自覚をもつて過ごしていきたい。」/始業式2年生代表南くんの抱負から。



シリーズ「社会の動向と本県教育を取り巻く現状・課題」
第四期長崎県教育振興基本計画から

今回から、第四期（来年度からの）長崎県教育振興基本計画（素案）に掲載されている「**社会の動向と本県教育を取り巻く現状・課題**」にある次の三つの課題を取り上げて、これらに対応する本校の教育における取組などを掲載していきたいと思えます。

第一回…VUCAの時代の到来

第二回…共生社会の実現

第三回…人口減少社会と人生百年時代

さて、さっそく進めたいと思えます。

〈第二回〉

VUCAの時代の到来

このことについて、教育振興基本計画には次のように記されています。

・現代は将来の予測が困難な時代と言われており、その特徴である**変動性、不確実性、複雑性、曖昧性**の頭文字をとってVUCAの時代とも言われています。

・急速なグローバル化の進展や「Society5.0」時代の到来や予測困難な将来など、このような社会において子どもたちが力強く生き抜いていくためには、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の創り手となることができような力をつけていく必要があります。

このような課題の中で、教育も変わっていくことが求められています。

〈そこで、中学校（本校）では〉

では、どのように変えていくか…。

学校では、授業も生活指導も、より一層「**生徒が主体的に対話的に**」なるようにしていくことが求められています。教科授業で学んだことを使って、どのような人生を切り拓いていくかを自分で考え、自分で決めて歩んでいく、という方向になります。別の言い方をすれば、「**道具の使い方は教えなくても、何を作る（創る、為す）かは、生徒自身が決める**」という内容に教育を転換していきます。

そもそも生徒個別の人生です。もう集団就職の時代ではなく、今は、未来がどのように変化していくかは、誰にも分からない時代に突入している…のが現実です。

ですので、生徒たちには、「**自分の強みを高めよう**」と言っています。先日、そのポイントを抜粋して四つ伝えました。

- ・アンテナを張って情報を得る。
- ・感動（AIができないこと）をたくさんする。
- ・とことん「得意」を伸ばし、磨く。
- ・ふるさとの地の利を生かす。

これらを具体的に形（生きる力）にしているのが、キャリア・マネジメントシート、キャリア・ポートフォリオ、フォーサイト、学びノート、モノグサ、個人研究（本年度末から本格的に始めます）です。紙面の幅から詳しくは掲載できませんが、大事なものは「**徹底**」です。彼らの未来のためにしっかりとやっています。



ふるさとの文化・歴史・人物 — 口之津中教育の視点から

「潮流発電」

環境省のホームページに次の記事がありました。

我が国は排他的経済水域世界第6位の海洋国であることから、海洋再生可能エネルギーの大きなポテンシャルを有しており、その中でも一年中安定した発電が見込まれる潮流発電については広く普及が期待されています。（環境省HPから）

国内でもすでに五島の久賀島で実験が行われており（口之津も！）、世界的には、イギリス、フランス、韓国、カナダで開発または実用化が進んでいるとのことでした（一般社団法人エネルギー情報センターの記事から）。私たちがとって見慣れた（見過している）風景の中に可能性が隠れているということも

改めて知りました。…この視点から「**生徒の内側にもまだ見ぬ可能性がある！**」と考えました。



口之津の沖合で実験中！の様子

開発を進めよう、
「このまちも生徒も！」
そう思った潮流発電のニュースでした。

【お知らせ】合同高校説明会について

「合同高校説明会」の準備を進めています。対象は中学一・二年生とその保護者で、市内の他の中学校も参加するので、リモートでの開催となります。今の中学二年生から、県立高校の入試が「**探究的な学び**」を重視するなど、大きく変わります。保護者の方々もごっそり御参観ください。

期日は二月二十六日（月）十四時〇〇分開会です。その後、学年育友会を予定しています。